

監査報告書

令和3年 5月18日

社会福祉法人 あかりの家

理事長 西尾 淳 様

監事 中野 直子 

監事 山本 弘幸 

私たち監事は、令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 定款第1条に規定される事業については、事業計画に沿って実施され、また結果についても適切に事業報告がされている。
- ② 事業全般については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、感染予防の為の努力、苦労は並大抵のことではなかったと推察される。感染者を出さなかったこと、また、経営面では収益が落ち込まなかったことは高く評価できるものである。
- ③ 障害者支援施設あかりの家の利用者支援については、高度な専門性に基づく幅広い職員研修により、担当部門ごとの職員の意識向上と利用者個々に対応した支援の充実が推察される。今後とも利用者の高齢化に伴う健康管理上の問題や感染症対策などにも考慮しながら利用者の立場に立った支援に努めていただきたい。
- ④ 地域支援センターあいあむについては、近隣市町の相談体制の充実、コロナ渦による働き方の見直しにより業務量の改善がされており、コロナ収束後においても改善に努めていただきたい。基幹相談支援センターについては、活動の結果、相談件数が昨年の約2倍となっている。運営体制については、業務量に見合った人員体制が確保できるよう、引き続き市との調整を行っていただきたい。
- ⑤ ワークホーム高砂については、作業工程の見直しや作業環境の改善に積極的に取り組み、作業効率の向上に努めている。納豆の製造においては、新たに工房を設置したことから売上が倍増し、工賃の増に貢献しており、引き続き新たな販路の開拓に努めていただきたい。今後もゴトウアズプランニングとの調整や保護者会との連携に努めるとともに、利用者の生活全般を見据えた支援の継続に努めていただきたい。
- ⑥ ひょうご発達障害者支援センタークローバーは、県の委託事業として益々幅広く信頼され評価さ

れていることが推察される。また、高校生や一般市民を対象とした新たな取り組みを通して、支援が必要な人に繋がっていくことが期待される。委託料については、業務量に見合ったものとなるよう県との調整に努めていただきたい。

- ⑦ 児童デイサービスについては、専門性の高い療育支援ができる事業所として認識されつつあり、今後の事業拡大に向けて、支援員の専門性のさらなる向上に努め、幅のある体制づくりに取り組んでいただきたい。
- ⑧ 社会福祉法人あかりの家の職員については、利用者支援への熱意や地域関係機関からの評価の高まりとともに一部職員の負担が増大しているように思われる。将来を見据えた人材育成と職員の意識共有に努め、個々のメンタル面も含めた健康管理の充実と働きやすい職場環境の形成に引き続き努めていただきたい。
- ⑨ 理事の職務の執行に関する不正の行為又は、法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

①納豆の棚卸

納豆の棚卸について、決算報告書の注記に会計方針の記載がないが、在庫量も増えているので、記載するのが望ましい。また、棚卸単価の価額が、製品については売価になっており、原価で計算すべきである。

- ②その他の計算書類及び財産目録については、特に問題はありませんでした。

以上